

▶プログラム◀

<第1日目 講義> 13:00~17:00

- 1 滞納整理の基本論理
 - (1) 地方税法第15条の重要性
 - (2) 国税通則法第49条第1項第4号
- 2 徴収業務の効率性
 - (1) 会計年度任用職員の活用
 - (2) 民間委託の有効活用
 - (3) 要綱・要領等の策定
 - (4) 徴収施策
 - ①ショートメッセージによる催告
 - ②財産調査の電子化
 - ③RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)
- 3 専門定型業務の民間委託
 - (1) 国民健康保険業務を民間委託
 - (2) 足立区の民間委託から考える
 - (3) 資格検定制度の活用
 - (4) 民間委託の有効活用
 - (5) 平成19年3月27日総税企第55号通知
 - (6) 共同徴収と民間委託の融合
 - (7) 民間事業者の活用
 - (8) インターネット公売等の活用

<第2日目 講義・グループワーク> 10:00~16:00

- 4 公金収納方法の多様化
 - (1) モバイル端末と公金収納
 - (2) コンビニ収納の導入
 - (3) MPNでの収納
 - (4) クレジットカードを利用した納付
- 5 合理化及び効率化の推進策
 - (1) 国民健康保険料と地方税徴収の連携強化
 - (2) 国民健康保険料の2年時効を踏まえた滞納整理
 - (3) 納税の猶予等の取扱要領
 - (4) 換価猶予の弾力的運用
 - (5) 滞納処分 of 停止に関する取扱い
 - (6) 執行停止の要綱策定
- 6 地方税の優先と他の債権との調整
 - (1) 租税の優先関係について
 - (2) 交付要求と参加差押え
 - (3) 税と私債権との競合の調整
 - (4) 租税優先の原則と担保を徴した公課について
 - (5) 担保権付財産が譲渡された場合について
- 7 まとめ・質疑応答

講師紹介

仙台市 健康福祉局 保険高齢部
保険料徴収担当課長 和久 州 氏

1991年仙台市青葉区役所税務部納税課で徴収業務をスタート、1997年財政局税務部税制課で区役所への指導業務を担当、1998年同特別滞納整理室で高額事案を担当、2002年係長試験合格、その後、徴収企画課、法人徴収課、個人徴収課等を経て、自ら国民健康保険料の徴収業務を希望して2012年健康福祉局徴収対策室長、2017年後期高齢者医

療保険料、介護保険料の保険料三料を担当する保険料徴収担当課長として現在に至る。2009年度の国民健康保険料現年度収納率83.80%、滞納繰越を含めた総括収納率66.65%という状況を2018年度に、それぞれ94%、88%を超えるまでに向上させた。著書に「地方公共団体徴収実務の要点」「4日でマスター徴収実務」「覚えておきたい自治体徴収実務の定石」などがある。また、全国各地で講演、研修会等を行っており、2018年宮城県国民健康保険料収納率向上アドバイザーに就任している。

講座申込み：FAX (03) 3403-1130

60014043 「(応用コース) 収納率向上のための徴収業務の効率化と事案検討実践講座」参加申込書

※NOMA記入

--	--	--	--	--	--	--	--

令和2年1月23日~24日

会員 一般(該当欄にレ印)

役所名		電話	()	内線	<ご連絡担当者>	
		FAX	()		所属	
所在地	〒				フリガナ氏名	
フリガナ参加者氏名	所属部課	役職名	経験年数	年	メールアドレス	
フリガナ参加者氏名	所属部課	役職名	経験年数	年	<通信欄>	
フリガナ参加者氏名	所属部課	役職名	経験年数	年		

申込書にご記入いただいた情報は、以下の目的に使用させていただきます。

①参加券・請求書の発送および参加者名簿の作成などの事務処理 ②本会主催のセミナー、展示会、通信教育などのご案内

②がご不要の場合は□にチェックしてください。—— □不要

(経験年数は、現在の部課での年数をご記入ください)